2019年6月(不定期発行・第9号) 会津大学計画広報係発行 cl-planpr@u-aizu.ac.jp

UoA News ⑨

※学生の学年等は受賞時のものです。

会津大学が文部科学省の「共同利用・共同研究拠点」に認定

2019年4月1日付けで、会津大学が文部科学省の「共同利用・共同研究拠点」に認定されました。

○認定拠点名
「月惑星探査アーカイブサイエンス拠点」

○認定期間
平成31年(2019年)4月1日
～令和7年(2025年)3月31日

会津大学「月惑星探査アーカイブサイエンス拠点」では、太陽系、地球や月惑星の起源と進化を探るため、全世界から月・惑星探査ミッションで得られたデータを本学に集約し、共同利用・共同研究に参加する関連研究者に対し、申請施設の利用に関する技術的支援、必要な情報の提供その他の支援を行います。今後、大学内に拠点を置き、全国各地の大学と公募型の萌芽的な研究や共同研究を実施していく予定です。

会津大学が第23回(2018年度)工学教育賞の文部科学大臣賞を受賞

会津大学が公益社団法人日本工学教育協会の第23回(2018年度)工学教育賞の文部科学大臣賞を受賞することが決定しました。これは、「全国高等学校パソコンコンクール(パソコン甲子園)」の開催を通じた将来のICT分野を担う人材の育成の取組が高く評価されたものです。なお、表彰式は2019年9月4日(木)に東北大学で開催される日本工学教育協会第67回年次大会にて予定されています。

2003年(第1回)から開催しているパソコン甲子園には、2018年(第16回)までに延べ23,899名が参加し、高度なプログラミングスキルを有する人材の育成を通じて、コンピュータサイエンスの発展に貢献しています。

会津大学教員が県警サイバー犯罪対策アドバイザーに委嘱されました

2019年4月9日(火)、会津大学中村章人上級准教授(情報セキュリティ学講座)が、昨年度に引き続き「福島県警察サイバー犯罪対策アドバイザー」を委嘱され、福島県警察本部生活安全部 國分政康部長から委嘱状が交付されました。

中村章人上級准教授は「サイバー犯罪の被害を防ぐため、企業や学生の知識や判断力を向上させたい。また、サイバー防犯ボランティアで関わったソフトウェア開発の、さらなる改善を学生に進めさせたい。」と抱負を語りました。

2018年度成績優秀者を表彰

2019年3月28日(木)、2018年度の成績優秀者12名のうち、学部3年以下の9名に対して、岡学長から表彰状が贈られました。

また、卒業する4年生3名に対しては、学位記授与式にて表彰が行われました。

<2018年度成績優秀者>
学部1年：菅野 大貴　木村 快晴　伊藤 亮哉
学部2年：熊谷 祐飛　村木 匡弥　粟森 達朗
学部3年：仁井田 義隆　星 桃子　小笠原 匠
学部4年：中村 朗(学長賞)
小名 達也　本田 凌

2019年度入学式を挙行

2019年4月2日(火)、2019年度入学式を挙行しました。

当日は、内堀雅雄福島県知事をはじめとするご来賓の方々をお迎えし、和やかな雰囲気の中にも厳粛な式となりました。式では学部入学生255名、博士前期課程53名、博士後期課程10名、合計318名全員の名前が読み上げられ、岡学長が入学許可を宣言しました。

会津大学女性プログラマ育成塾 第3期生入講式を開催

2019年4月19日(金)、会津大学LICTiA2Fカンファレンススペースで女性プログラマ育成塾第３期生の入講式を行いました。入講式には、第3期生104名のうち、9名が出席しました。一般社団法人福島県情報産業協会、福島県の方々をご来賓としてお迎えし、受講生に向けたお祝いのお言葉をいただきました。

受講生代表は、「ITやプログラミングについて、より深く理解し、技術を学ぶことによって、日々進化していくIT技術を活用し、社会の発展に携われるようなスキルを習得したいと思います。そして、ふるさと福島の発展に貢献していきたいと思います。」と決意表明がありました。

会津大学の研究者、学生等が主著者・共著者となった小惑星探査機「はやぶさ2」の観測成果論文3篇が、Science誌に掲載

2019年3月20日(水)、会津大学先端情報科学研究センターARC-Spaceの研究者、学生等が主著者・共著者となった小惑星探査機「はやぶさ２」の観測成果論文3篇が、Science(サイエンス)誌に掲載されました。

Science誌に今回掲載された論文3篇のうち1篇は本学の北里宏平准教授が主著者であり、他2篇も会津大教員及び学生等が共著者として含まれます。これらの論文は、リモートセンシング観測や重力計測に基づく解析の初期成果をまとめたもので、小惑星リュウグウの形状、内部の構造、表面の組成、地形、母天体についての研究成果を含みます。

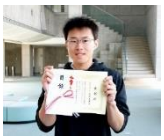
「THE世界大学ランキング日本版2019」において会津大学が26位にランクイン

2019年3月27日(水)に発表されたイギリスの教育専門誌Times Higher Education(THE)による「THE世界大学ランキング日本版2019」において、会津大学は26位にランクインし、昨年の34位から大きくランクアップしました。

このランキングは、大学を教育リソース、教育充実度、教育成果、国際性の4分野における16の指標から評価したもので、会津大学は公立大学の中では2位となりました。

THE世界大学ランキング日本版は、世界版が「研究力」に比重を置いた調査であるのに対し、日本の大学の使命を鑑み、より「教育力」を重視した内容となっています。

会津大学学部3年生が、「北大・日立新概念コンピューティングコンテスト2018」の問題Bで１位を受賞



2019年3月15日(金)、福岡大学七隈キャンパスで開催された情報処理学会第81回全国大会のランチョンセミナーで会津大学学部3年の白井友貴さんが、「北大・日立新概念コンピューティングコンテスト2018」(開催期間:2019年2月14日～2月27日)において問題Bで１位を受賞しました。

このコンテストは、アニーリングマシンをはじめとする新概念コンピューティングのキー技術になると考えられている前処理アルゴリズムの効率化を目的に2017年度からスタートした、北海道大学と日立が共同で開催するマラソン型のプログラミングコンテストです。

会津大大学院生が悪質サイトの閉鎖に協力し、福島県警本部から感謝状を授与されました

2019年3月12日(火)、会津大学にて、会津大大学院生の土橋風馬さん（2018年度博士前期課程修了）が、悪質サイトの閉鎖に協力しインターネット利用犯罪の被害を防止したとして、県警本部の蛭田孝治生活安全部参事官から感謝状を贈呈されました。

土橋さんは「フィッシングサイト」と呼ばれる悪質な偽サイトを探索するプログラムを開発し、大手検索サイトなどに似せたフィッシングサイト5件を見つけ、ネットワーク関連企業などでつくる「フィッシング対策協議会」などに情報提供し、サイト2件を閉鎖に追い込みました。

会津大学の学生が起業した「株式会社チームミズキ」に「会津大学発ベンチャー」の称号を授与

2019年3月27日(水)、会津大学にて、会津大学の研究成果や資源を活用して起業した「株式会社チームミズキ」(代表取締役 五十嵐太清さん2018年度博士前期課程修了)に、「会津大学発ベンチャー」の称号を岡嶐一理事長兼学長から授与しました。会津大学発ベンチャー認定は同社で21社目となります。

五十嵐さんは、在学中の2015年3月に「株式会社チームミズキ」を設立し、経営のノウハウを学びながら、仮想通貨の取引などを管理するブロックチェーン技術を研究し、ブロックチェーンを活用した地域通貨の実証実験などを通して技術の向上を図りました。

現在、株式会社チームミズキは、東京のＩＴ企業が手掛けるアプリ開発において、鍵となるブロックチェーン技術の研究開発を担当しています。

2018年度学位記授与式を挙行

2019年3月20日(水)、会津大学講堂にて2018年度学位記授与式を挙行しました。コンピュータ理工学部卒業生188名、大学院博士前期課程修了生59名、大学院博士後期課程修了生5名、の計252名が、それぞれの進路で社会への貢献を目指します。

授与式終了後には、記念写真撮影及び個人学位記の授与、学生食堂にて後援会主催の卒業記念パーティーが行われました。学生生活最後となるこのパーティーで、参加者たちは、和やかな雰囲気の中で歓談や記念撮影を楽しんでいました。

会津大学学部3年生が2019 21st International Conference on Advanced Communications Technology で優秀論文賞を受賞

2019年2月17日(日)から20日(水)にかけて韓国で開催されたICACT-2019で、会津大学コンピュータ理工学部3年生の根本優太さんが研究論文「Technologies for Super Micro Websites: Itty.bitty vs. Docs365 Itty Bitty」の発表を行い、優秀論文賞を受賞しました。

この研究は、インターネットにおいて新しい情報共有の方法を可能にする最新のWebテクノロジーである「Itty.bitty」について述べ、「Docs365 Itty Bitty」と呼ばれるツールと比較することでその効果性を明らかにしたものです。

会津大学大学院博士課程3年生が「ビッグデータおよびスマートコンピューティングに関するIEEE国際会議」で準最優秀論文賞を受賞

2019年2月28日(木)から3月2日(土)まで、京都で開催された「ビッグデータおよびスマートコンピューティングに関するIEEE国際会議」(ICACT)で、会津大学ベン・アブデラゼク研究室に所属する博士後期課程３年生のThe H. Vu(テー フィヴー)さんが、準最優秀論文賞を受賞しました。

受賞した論文は「low-latency K-means based multicast routing algorithm and architecture for three-dimensional spiking neuromorphic chips」です。本論文は、スパイキングニューロモルフィックチップのための新しいマルチキャストルーティングアルゴリズムとアーキテクチャを提示しました。

本学研究者が 6th International Conference on Educational Technologies 2019 で優秀論文賞を受賞

2019年2月8日(金)から10日(日)まで、香港の嶺南大学(Lingnan University)で、6th International Conference on Educational Technologies 2019が開催され、会津大学語学研究センターのピーター イリチュ(Peter Ilic)准教授の『Capturing mobile collaboration in active learning: lessons from a longitudinal mixed methodologies study』が「優秀論文賞」を受賞しました。

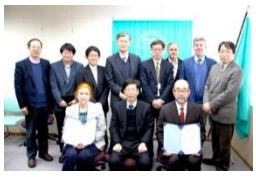
今回のプレゼンテーションでは、スマートフォンを様々な学習状況に導入する試みについて考察し、モバイルデータ収集関連の方法論的考察に焦点を当てました。

ロボット情報工学クラスターの本学学部生らが第19回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2018)で優秀講演賞を受賞

2018年12月13日(木)から15日(土)まで、大阪工業大学梅田キャンパスで開催されたSI2018で発表した「移動ロボットにおけるオドメトリと環境情報を用いた自己位置推定」でロボット工学研究室の卒業生、松井洸太さん（第一著者・2018年度卒業）と出縄飛竜さん（第二著者・2018年度卒業）及び本学教職員3名が、優秀講演賞を受賞しました。

講 演 名：移動ロボットにおけるオドメトリと環境情報を用いた自己位置推定
著　　者：松井洸太、出縄飛竜、吉野大志、中村啓太、成瀬継太郎

会津大学永年勤続表彰式を開催



2019年3月12日(火)、会津大学応接室で会津大学職員表彰(永年勤続)表彰式を執り行いました。
今回表彰された職員は次のとおりです。
教　　授：菊地則行（文化研究センター）
上級准教授：イリナ・キミロバ（コンピュータ・サイエンス部門）
お二人とも、2018年度末をもって退任されました。

本学研究者による論文が電気学会論文誌Cに掲載

会津大学修士課程の高良聡さん(LSI設計学講座 東原研究室 2018年度博士前期課程修了)と東原恒夫教授の論文が電気学会論文誌Cの2019年1月号に掲載されました。

この論文は,次世代無線通信システム「5G」(第5世代移動通信システム)などで使われている変調方式「QAM」(直交振幅変調）に適した、CMOSを使った無線端末向け高精度・複素型直交変調器の構成について提案しているものです。

会津大学生が第四回ふくしま経済･産業･ものづくり賞（ふくしま産業賞）を受賞

2019年2月8日（金）、郡山市のホテルハマツにおいて、福島民報社の第四回ふくしま経済・産業・ものづくり賞（ふくしま産業賞）の表彰式が行われ、今回から設けられた学生部門において、本学からは学生奨励賞を2件受賞し、秋山真範さん（学部4年）、並びに芳賀史都さん（学部3年）をリーダーとしたチーム「Openapplab農業IoT」が選ばれました。

秋山さんは、VR（仮想現実）に関する事業を手掛けるベンチャー企業「Ａｎｏｓｔ　ＶＲ」（アナスト・ブイアール）を設立し、企業からの受注に加え、自社オリジナルのＶＲコンテンツ開発、販売を手掛けています。

「Openapplab農業IoT」チームは、地元のIT企業や農家と連携し、ビニールハウス内の環境を測定し、収集・発信するシステムを開発しました。温度や湿度、日照度などの情報を遠隔のパソコンやスマートフォンで取得できるようにし、農家の負担軽減を図るシステムです。

会津大学博士前期課程学生が電子情報通信学会VLSI設計技術研究会で2つの賞を受賞

2018年12月6日（木）、サテライトキャンパスひろしまで電子情報通信学会VLSI設計技術研究会の授賞式が行われ、会津大学LSI設計学講座 小平研に所属する博士前期課程1年生の東 梨奈さんが、学生優秀英論文執筆賞を受賞し、また12月5日（水）に同会場で開かれたデザインガイア2018での研究発表でも、学生ポスター賞を受賞しました。

どちらの発表も、東芝メモリ株式会社、東京工業大学、会津大学小平上級准教授との共同研究によるものです。

会津大学学部3年生が平成30年度会津産IT技術認定証授与式において奨励賞受賞

2019年1月16日（水）、会津大学産業イノベーションセンター（UBIC）3Dシアターで、会津ＩＴ産業振興協議会による平成30年度会津産IT技術認定証授与式が行われました。

今年は5件の応募があり、奨励賞の1点に会津大生・芳賀史都さん（学部3年）の「農業とＩＴをつなげるＳｍａｒｔＡｇｒｉ」が選ばれました。

この制度は、会津若松市域においてＩＴを活用して起業を志す学生・個人・グループ、新商品を開発した企業、新技術を創出する研究者、学生・個人・グループなどを対象に、優秀な成果品を会津産IT技術として認定し、認定証を授与するものです。

アジア各地の大会で競技プログラミング部が活躍!!

会津大学競技プログラミング部は、2018年11月から12月にかけてアジア各地で開催されたACM-ICPC 2018 Asia Regional Contestに出場しました。惜しくも2年振りの世界大会進出はなりませんでしたが、依然トップクラスの成績を修めております。各大会の成績は以下の通りです。

○2018 ACM-ICPC Seoul Regional 2018年11月3日（土）韓国
　チーム「UKUNICHIA」16位（大学別9位入賞）
○The 2018 ICPC Asia Taipei Regional Contest 2018年11月10日（土）台湾
　チーム「tubuannpan」28位・チーム「koshianman」 38位
○ICPC Asia Yokohama Regional Contest 2018 2018年12月 9日（日）横浜市
　チーム「UKUNICHIA」11位・チーム「Return_ZUKKY」19位（大学別9位入賞）
○2018 ICPC Asia Singapore Regional Contest 2018年12月13日（木）シンガポール
　チーム「Return_ZUKKY」26位

2018年度学生の選んだベスト授業賞について

2017年度に実施した会津大学学生による授業評価アンケートの結果を基に、「学生の選んだベスト授業賞（2018年度）」を選出し、教授会にて表彰式を執り行いました。本賞は、前年度に開講した学部の授業の中で、受講学生の評価が最も高かった講義を担当した教員に贈られるものです。

今年度の受賞者及び担当科目は以下のとおりです。

○受賞者名：成瀬　継太郎　教授
　科 目 名：P04 プログラミングC++ (2017年度)
○受賞者名：Ian Wilson　教授
　科 目 名：E05 English for Computer Science:Intermediate English A (2017年度)

※学生の学年等は受賞時のものです。

会津大学
THE UNIVERSITY OF AIZU
公立大学法人 会津大学　〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀
学生部学生課 ◎Tel:0242-37-2723 Fax:0242-37-2526 E-mail:admission@u-aizu.ac.jp
企画連携課 ◎Tel:0242-37-2510 Fax:0242-37-2546 E-mail:cl-planpr@u-aizu.ac.jp
http://www.u-aizu.ac.jp 会津大学 検索 スマートフォンの方はこちらから▶